

山に変わったことがあったら、電話等の早い方法で連絡して下さい。

〈緊急時連絡先一覧〉※火事・救急は「119番」、警察は「110番」へ!!

| 行政機関     | 電話番号         | 消防機関      | 電話番号         |
|----------|--------------|-----------|--------------|
| 森町役場     | 01374-2-2181 | 森町消防本部    | 01374-2-2125 |
| 森町砂原支所   | 01374-8-3111 | 森町消防署砂原支署 | 01374-8-2156 |
| 鹿部町役場    | 01372-7-2111 | 鹿部消防署     | 01372-7-3331 |
| 函館市役所    | 0138-21-3648 | 函館市消防本部   | 0138-22-2146 |
| 函館市南茅部支所 | 0138-25-5111 | 函館市南茅部支署  | 0138-63-3101 |
| 七飯町役場    | 0138-65-2511 | 七飯消防署     | 0138-65-2244 |

| 気象台                      | 電話番号         | 警察機関     | 電話番号         |
|--------------------------|--------------|----------|--------------|
| 函館海洋気象台                  | 0138-46-2212 | 森警察署     | 01374-2-0110 |
| 札幌管区気象台<br>(火山監視・情報センター) | 011-611-2421 | 函館中央警察署  | 0138-54-0110 |
|                          |              | 道警函館方面本部 | 0138-31-0110 |

### 「山の異常現象」について

- 山の方から爆発音が聞こえたり、衝撃波が伝わりガラス窓の振動音が聞こえる。「鳴動や空振」
- 温泉の温度や湧出量が急に变化したり、新たな温泉が出現したりする。「温泉や湧水の異変」
- 山に住んでる動物が異常現象を感じて山から逃げ出してくる。「動物の異常行動」等

駒ヶ岳の火山活動に関して異常現象を発見した人は、素早く上記の機関等へ連絡して下さい。

(切り取り線)

### 避難カード

(切り取り線)

世帯主名

他名

避難しました

避難先

(住所:

避難先電話番号  
(又は携帯電話番号)

本カードは、災害時に自主的に避難をしようとする場合、玄関等の見やすい場所に表示しておいて下さい。

※記入の際は消えにくい油性マジックなどを使用して下さい。

(切り取り線)

(切り取り線)



# 駒ヶ岳火山防災ハンドブック



「災害から、私たちの生命や財産を守る最大の力となるものは、日頃からの私たち自身の防災意識なのです。」

駒ヶ岳火山噴火災害危険区域予想図(住民啓発用ハザードマップ)

保存版

駒ヶ岳火山防災会議協議会(森町・鹿部町・函館市・七飯町)

# 北海道駒ヶ岳火山の概要

## はじめに

北海道駒ヶ岳火山(以下駒ヶ岳)は、国立公園にも指定され、美しい景観で有名です。しかし、駒ヶ岳は激しい噴火を繰り返す活火山としても知られています。

駒ヶ岳はおよそ10万年前に活動を開始して以来、噴火と崩壊を繰り返して現在の姿となりました。頂上部の剣ヶ峯、砂原岳、隅田盛は崩壊の名残です。昭和4年以降、大規模な噴火をしていませんでしたが、平成8年から平成12年にかけて火山活動が活発化し、小噴火を繰り返しました。その後小康状態となり、平成22年3月現在、昭和4年火口内で弱い噴気活動をしています。



昆布の水揚げ



しかべ間温泉



ホタテの養殖



山麓の大規模な麦畑

## 【火山との共存・恵み】



濁川カルデラ盆地



濁川地熱発電所



豊かな土壌での  
かぼちゃ栽培

駒ヶ岳の噴火による被害の一方で、美しい景観が生み出され、温泉が湧き出ること、駒ヶ岳周辺の地域は全国的にも有名な観光地となっています。また、地熱発電や、野菜づくりに適した豊かな土壌など、たくさんの恵みを受けています。

# 噴火の歴史

駒ヶ岳は10万年より前に活動を開始したと考えられています。その後、現在までに20回以上の軽石噴火を起こし、3回以上山体を崩壊させていたことが、噴出物を調べることによって分かっています。最近の活動の多くは、古文書に記録されており、その数は20数回あります。その中でも1640年、1694年、1856年、1929年の4回は**火砕流を伴う激しい軽石噴火**でした。

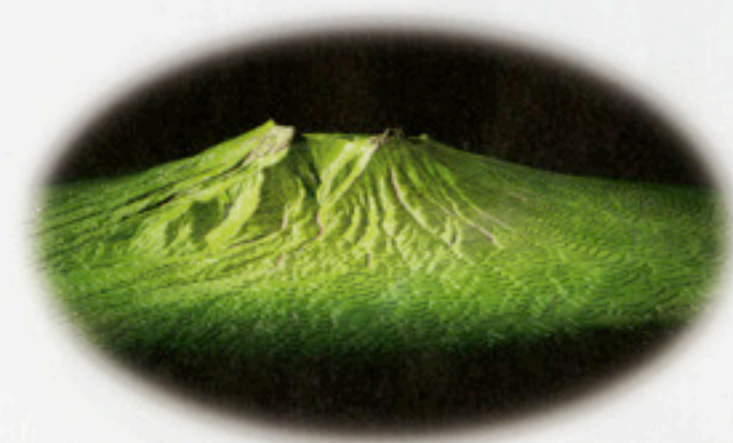
**寛永17年(1640年)の噴火**では最初に火山体の一部が、南側(大沼側)と東側(鹿部側)に相次いで崩れました。東に崩れた一部は噴火湾になだれ込み、津波を起こしました。この津波によって700人あまりの方が溺死しました。その後噴火は、激しい軽石噴火へと移り、軽石が降り注ぎ火砕流も発生しました。この噴火で降下した軽石は森町では100cm以上も積もりました。1640年の軽石噴火は1929年の噴火に比べて数倍も大きなものでした。

**元禄7年(1694年)の噴火**は詳しい記録が残されていませんが、2日間続いたことが記されています。また、東麓の鹿部漁業センター付近では約200cmの厚さの降下軽石を堆積させています。

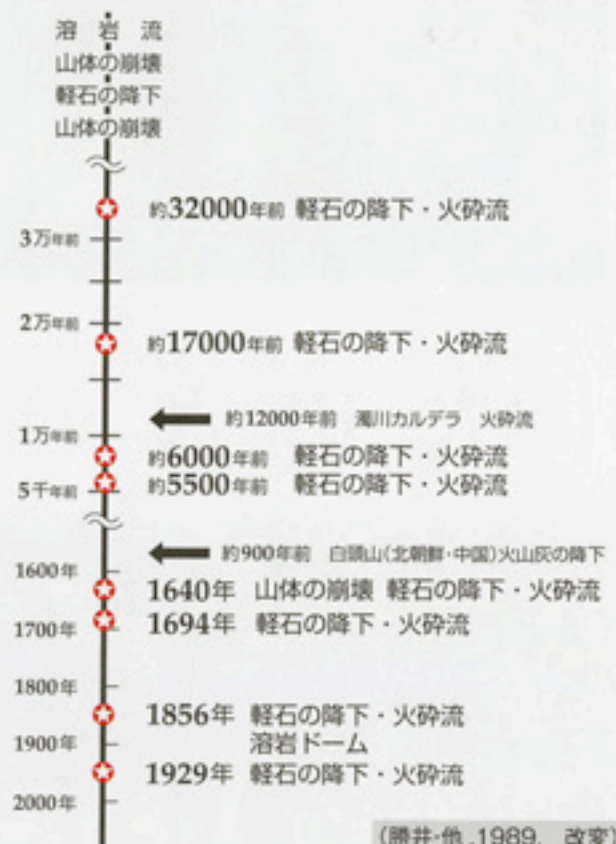
**安政3年(1856年)の噴火**は多くの記録が残されています。それらによれば、8月26日の早朝から山麓で地震が頻発し、同日午後9時頃から激しい軽石噴火が始まり、約8時間続きました。東麓では約60cmの厚さの軽石が降り積もり、これによって死者2名、負傷者多数、家屋17軒が焼失しました。

また、この噴火でも軽石噴火の途中から火砕流が発生し、留ノ湯で約20名の死者を出しました。この噴火の後、火口内には小さな溶岩ドームが形成されました。

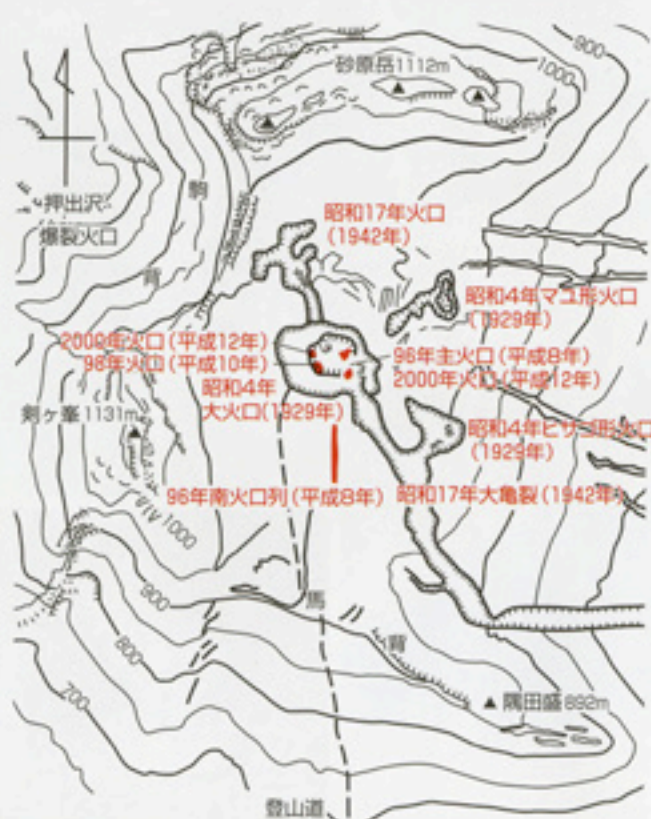
**昭和4年(1929年)の噴火**は、噴火前日の2回の無感地震の後、6月17日の午前0時30分頃から鳴動とともに、はじめ小噴火が始まり、9時間後に激しい軽石噴火へと移行しました。火砕流は軽石噴火が始まって3時間後に発生し始め、軽石噴火は14時間続きました。この噴火では、鹿部市街で約100cmの厚さの降下軽石が降り積もり、死者2名負傷者4名を出しました。そのほかに家屋・家畜・耕地・漁場に大きな被害が出ました。噴火終了の翌日



## 駒ヶ岳の噴火史



## 駒ヶ岳山頂周辺図



19日には、降雨のため沼尻方面に泥流が発生しています。この1929年噴火の5~10年前の5年間には小噴火が頻発しています。

**昭和17年(1942年)の噴火**は11月16日の午前8時頃に始まり、約30分間続きました。この噴火では、噴煙の上昇とともに流下する噴煙(火砕サージ)が目撃されています。また、山頂の火口原には長さ1.6kmの大亀裂が形成されました。

最近の火山活動は、平成8年(1996年)から平成12年(2000年)に小噴火(水蒸気爆発)を繰り返しました。これらの噴火は上記の軽石噴火に比べて非常に小規模な噴火です。**平成8年3月5日の噴火**では、昭和4年火口の南側に新たな火口列が形成されました。この噴火による火山灰は、風下側に少量積もっただけでしたが、火口から南南東30kmの地点でも観測されました。また、山頂に積もった火山灰はその後の大雨によって泥流となり、農地や家屋に若干の被害を出しています。その後は、平成10年10月25日、平成12年9月4日、12日、28日、10月24日、28日、11月8日に小噴火をしています。平成10年の噴火では火口の付近で直径1mを超える噴石が確認されていますが、これらの噴火による被害はでていません。

## 歴史時代の噴火史

| 西暦(邦暦)       | 規模  | 噴火に伴う前兆現象の記録                                        |
|--------------|-----|-----------------------------------------------------|
| 寛永17年(1640年) | 大噴火 | 山崩り著し                                               |
| 元禄7年(1694年)  | 〃   | 記録不明                                                |
| 明治2年(1765年)  | 小噴火 | 記録不明                                                |
| 安政3年(1856年)  | 大噴火 | 2日前から鳴動。数時間前から震動を感じ、少量の降灰あり                         |
| 明治21年(1888年) | 小噴火 | 特になし                                                |
| 明治38年(1905年) | 〃   | 2日前から鳴動を感じ、小爆発がおり2~3日後やや大きな爆発となる                    |
| 大正8年(1919年)  | 〃   | 噴火の前日午後駒ヶ岳付近で地震及び鳴動あり                               |
| 大正12年(1923年) | 〃   | 特になし                                                |
| 大正13年(1924年) | 〃   | 約30分前から鳴動あり                                         |
| 昭和4年(1929年)  | 大噴火 | 2~3日前から鳴動、10~13時間前に地震あり小爆発にいたる。小爆発開始後9時間30分で大噴火が始まる |
| 昭和12年(1937年) | 小噴火 | 2日前からときどき鳴動や少量の降灰あり                                 |
| 昭和17年(1942年) | 中噴火 | 4~5日前にドーンという音響を聞く、30分前に小地震を記録する                     |
| 平成8年(1996年)  | 小噴火 | 特になし                                                |
| 平成10年(1998年) | 〃   | 特になし                                                |
| 平成12年(2000年) | 〃   | 特になし・6回小噴火を繰り返す                                     |



## 過去の噴火による噴出物

駒ヶ岳という火山を知る上で、駒ヶ岳の将来の噴火にそなえるにあたって、過去にどのような噴火をし、どのような噴出物を堆積させたかを知っておく必要があります。1640年から現在に至るまでに4回の大噴火を起こしています。駒ヶ岳周辺は、それらの噴火による噴出物が広く堆積しています。

右の図はこれらの噴出物の分布を示したもので、「降下火砕物(火山灰・軽石)」が広範囲に分布していることがわかります。今後、同じような噴火が起きた時のために、どの範囲にどの位積もったか?知っておく必要があります。

### 火砕流(軽石流)によって、埋めつくされた範囲

火砕流の火山灰・軽石などにより埋め尽くされた範囲を示したものです。火砕サージはこれらよりもやや広い範囲に広がったと思われます。

|                  |  |
|------------------|--|
| 昭和4年(1929年)の火砕流  |  |
| 安政3年(1856年)の火砕流  |  |
| 寛永17年(1640年)の火砕流 |  |

### 降下火砕物(降った火山灰・軽石)が厚く積もった範囲

これら以外にも元禄7年(1694年)・安政3年(1856年)の噴火による降下火砕物が駒ヶ岳東斜面に堆積しています。

|                                       |  |      |
|---------------------------------------|--|------|
| 昭和4年(1929年)の噴火で厚さ10cm以上火山灰・軽石が積もった範囲  |  | 10cm |
| 昭和4年(1929年)の噴火で厚さ1m以上火山灰・軽石が積もった範囲    |  | 1m   |
| 寛永17年(1640年)の噴火で厚さ10cm以上火山灰・軽石が積もった範囲 |  | 10cm |
| 寛永17年(1640年)の噴火で厚さ1m以上火山灰・軽石が積もった範囲   |  | 1m   |

### 火山泥流・土石流の流下域

このほか寛永17年(1640年)の噴火後発生したものを始め駒ヶ岳の斜面では火山泥流が何回か発生しています。最近では1996年の小噴火の後に留ノ沢などで発生しました。

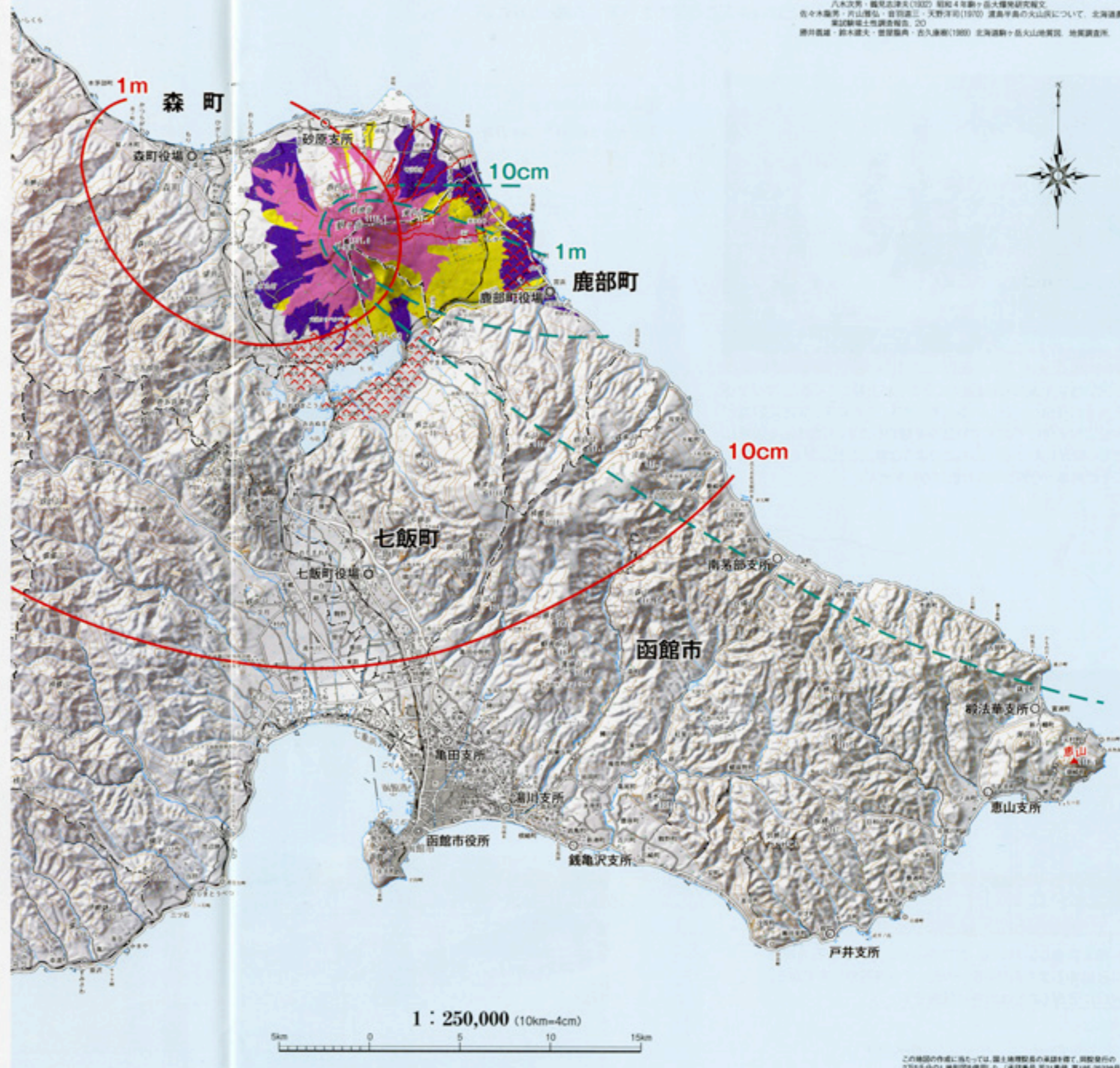
|                        |  |
|------------------------|--|
| 昭和4年(1929年)の噴火後の泥流・土石流 |  |
|------------------------|--|

### 岩屑なだれで埋めつくされた範囲

寛永17年(1640年)の噴火は山頂部が大規模に崩れ東及び南側の山麓に土砂・岩塊が堆積し、多くの流れ山(小丘)を形成しました。記録に残っている噴火では岩屑なだれはこの噴火の時にしか発生していませんが、駒ヶ岳では過去に3回以上山体が崩れています。

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 寛永17年(1640年)の岩屑なだれ堆積物 |  |
|-----------------------|--|

## 歴史時代噴火の噴出物の分布(図)



#### [参考文献]

藤井義雄・石川俊夫(1981) 北海道駒ヶ岳の活動史。噴出物およびDisaster Mapと災害評価。文部省科学研究費自然災害特別研究研究成果自然災害科学総合研究所「火山災害の特質とHazardMapの作成およびそれによる噴火災害の予測の研究」(研究代表者: 下藤大輔)。23-29  
 藤井義雄・藤井清子・紀本謙吾・山田裕夫(1989) 北海道駒ヶ岳の歴史時代の火砕流。文部省科学研究費自然災害特別研究研究成果自然災害科学総合研究所「火山噴火に伴う地質的体質(火砕流等)の特質と実態」(研究代表者: 荒牧重雄)。91-113  
 神津誠治・渡邊英次郎・吉本文平・藤田勝一・渡邊勲六・上田第一・高橋勝利・瀬戸誠徳・八木次男・藤見忠津夫(1992) 昭和4年駒ヶ岳大噴火研究報告。北海道駒ヶ岳大噴火研究報告。20  
 吉々木隆男・片山隆弘・春日道三・天野洋司(1970) 道南半島の火山について。北海道農業試験場土地調査報告。20  
 藤井義雄・鈴木謙夫・豊原隆典・吉久康樹(1989) 北海道駒ヶ岳火山地質図。地質調査所。

この地図の作成に当たっては、国土院地質院の承諾を得て、国土地理院の「275号分冊1 地質図集」を使用し、(承諾番号 平21地認、第185-25238号)

# 火山災害とは

火山噴出物は**高温**であったり、**高速**で流れ拡がったりするために災害をもたらすことがあります。しかもマグマの性質が多様なため、噴火の起こり方や噴出物の種類も多様であり、それに伴う**災害も多様**です。しかしそれぞれの火山について見ると、マグマの性質はかなり限られており、従ってその火山で起こる災害も限られます。そこでそれぞれの火山で過去にどのような噴火をしたかを調べるといことは将来起こる災害を予測する鍵となります。



1986年福徳岡ノ場の噴火  
マグマ水蒸気爆発(小笠原諸島)

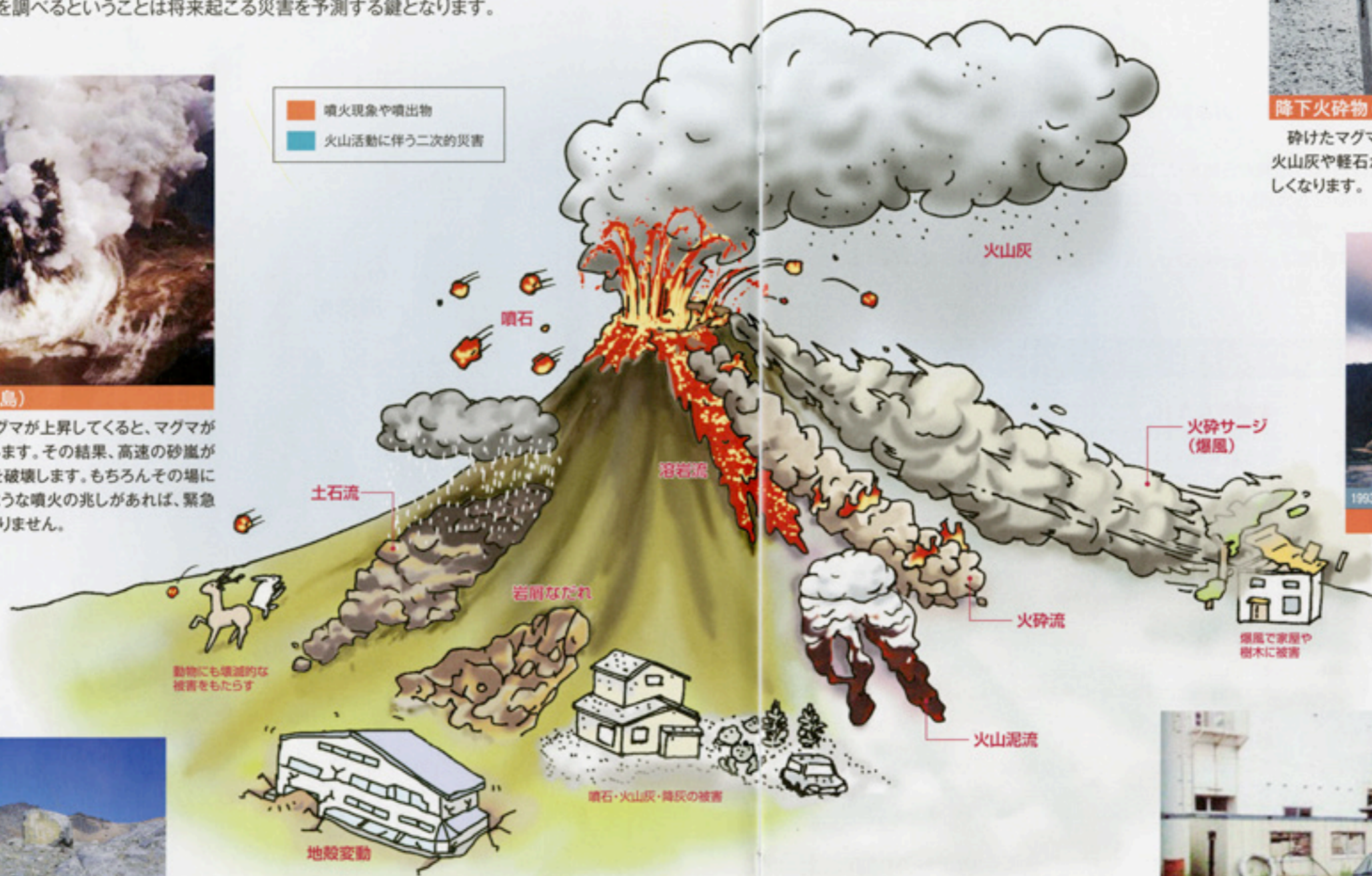
浅い水底や湖岸・海岸近くにマグマが上昇してくると、マグマが直接水に接触して激しい爆発をします。その結果、高速の砂嵐が周囲に吹き付けて樹木や建造物を破壊します。もちろんその場に居たら助かりません。もしもこのような噴火の兆しがあれば、緊急にその地域から脱出しなければなりません。



砂原島と1996年からの小噴火による噴石状況

噴火の激しい勢いで、火口をふさいでいる岩石を周囲に放出する事があります。小噴火でも噴石が出ますから、火口に近寄ることは非常に危険です。

噴火現象や噴出物  
火山活動に伴う二次的災害



2000年有珠山噴火の西山火口近くの某菓子工場の被害状況  
地殻変動



駒ヶ岳1929年大噴火・東大沼の降下火砕物

降下火砕物(火山灰・軽石)  
砕けたマグマや岩石が火山ガスとともに噴煙となって吹き上げられ、火山灰や軽石が降り積もります。視界不良やぬかるみで車の走行は難しくなります。



1993年雲仙普賢岳(高崎フォトサービス提供)

火砕流(軽石流)・火砕サージ

雲仙普賢岳の噴火で頻りに発生して良く知られるようになりました。高温で高速の流れですから大変危険です。しかも雲仙岳とは違って溶岩ドームに関係なく発生することがあります。駒ヶ岳の歴史時代の大噴火がそうでした。



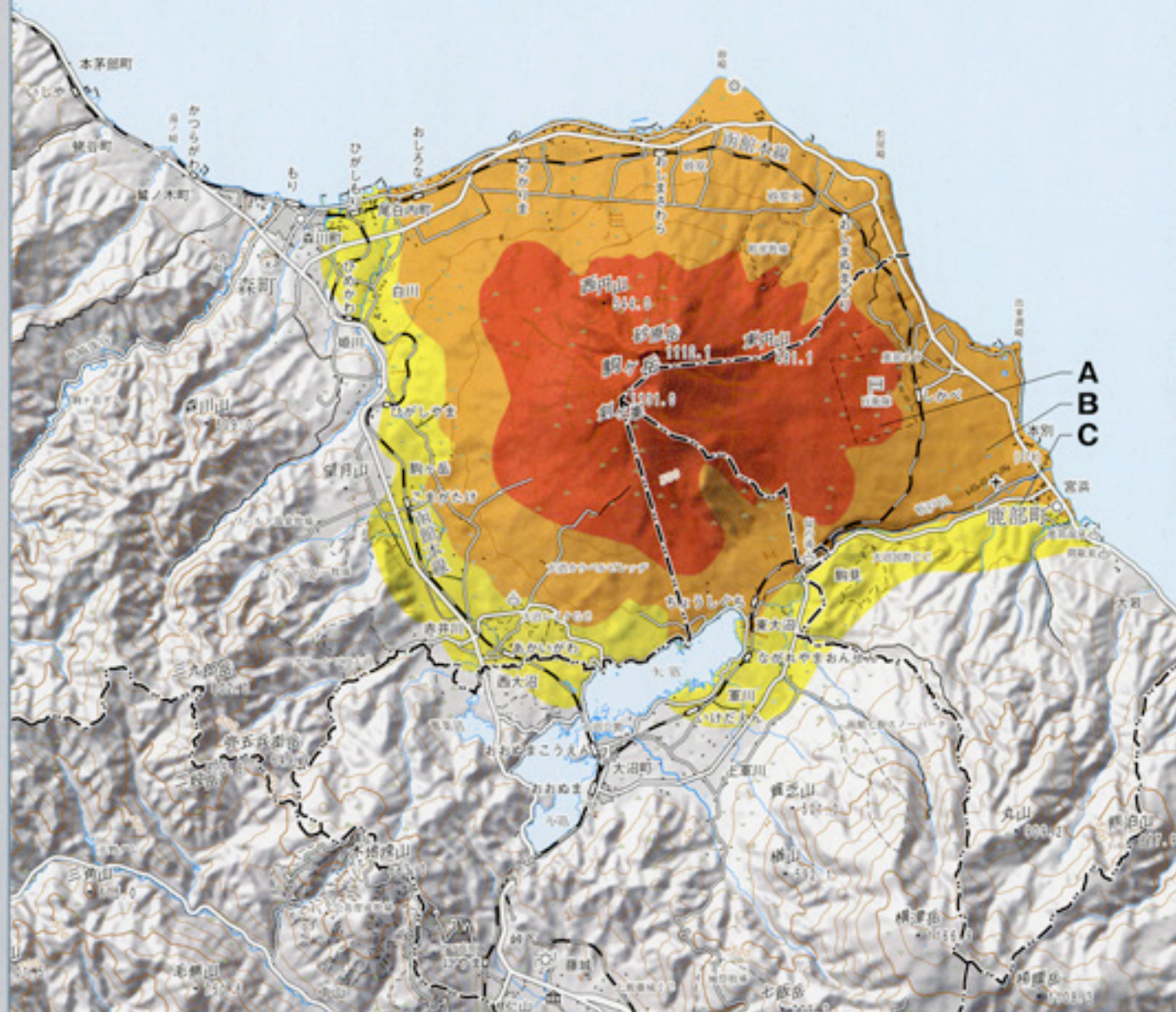
駒ヶ岳1996年小噴火後の暫ノ沢、温泉施設の被害状況

火山泥流・土石流

噴火によって地表に堆積した火山灰が大雨で流れ、火山灰や河床の土石を巻き込んで破壊力の大きな流れになります。積雪のある火山で噴火が始まると、噴出物の熱で雪が急速に溶け出して泥流になることもあります。発生したら川沿いから離れ高台に避難する必要があります。



## 火砕流(軽石流)・火砕サージ



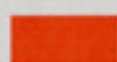
「火砕流」は、高温の軽石・火山灰・火山ガスなどからなる混合物で火口付近から高速で斜面を流下してきます。

「火砕サージ」は火砕流よりも火山ガスが多く、より高速で流下してきます。

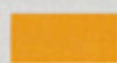


火砕流(軽石流)・火砕サージ(昭和4年大噴火・森町城根より)

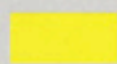
**危険区域A** 中小規模の噴火でも火砕サージが到達する可能性がある。



**危険区域B** 大規模な噴火では火砕流によって軽石等に埋めつくされる可能性がある。

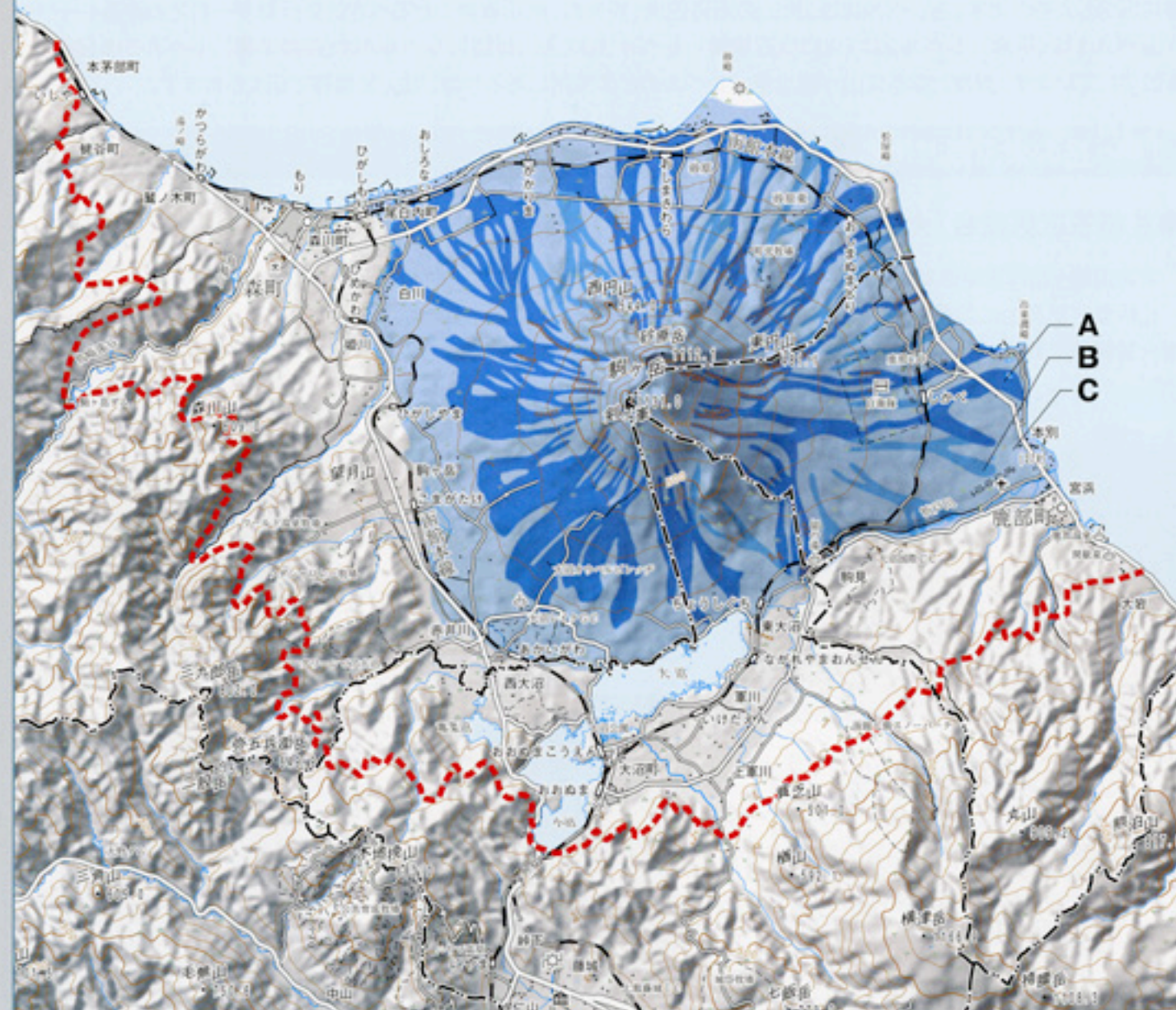


**危険区域C** 大規模な噴火では火砕サージによって災害が発生する可能性がある。



火砕流は噴火開始後、数時間以内に発生することが予想されます。火砕流は斜面を流れるとき、谷沿いに流下することが多く、海に流入すると、そこで新たに爆発を起こすことがあります。また、火砕流や火砕サージは海や湖の上を流れ、より遠方まで到達することがあります。

## 火山泥流・土石流 / 岩屑なだれ



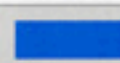
「火山泥流・土石流」は、火山灰で覆われた所に雨が降ると発生する場合があります。また、積雪期に火砕流などの熱で一気に融雪し発生する場合があります。

「岩屑なだれ」は、火山体の斜面の一部が大規模に崩落する現象です。

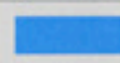


火山泥流・土石流(昭和6年神島寺付近の泥流被害)

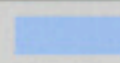
**危険区域A** 噴火後の降雨で火山泥流・土石流が発生する可能性が大きい。



**危険区域B** 噴火後の降雨で火山泥流・土石流が発生する可能性がある。



**危険区域C** 積雪期の噴火で発生する火山泥流によって浸水する可能性がある。



火山灰が降り積もったところに降雨があると火山泥流・土石流が発生します。積雪期には、降雨がなくても、火山泥流・土石流が噴火後数時間以内に発生することも考えられます。

火山泥流・土石流は主に谷部を流れ下り、平坦地で氾濫する場合があります。

岩屑なだれが到達する可能性のある区域  
(破線の内側の区域)



岩屑なだれは発生する可能性が低いと考えられます。もし発生した場合でも限られた方向で起こるため、その影響が全域に及ぶことはありません。

大規模な噴火があった場合でもこの区域内すべてが危険なのではありません。

# 駒ヶ岳の火山観測体制

噴火警戒レベルとは、火山活動の状況を噴火時などの危険な範囲や必要な防災対応を踏まえて、レベル1から5の5段階に区分したものです。各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目でわかるキーワード(レベル1は「平常」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル3は「入山規制」、レベル4は「避難準備」、レベル5は「避難」)を設定しています。対象となる火山が噴火警戒レベルのどの段階にあるかは、噴火警報等で伝えられます。

## 「駒ヶ岳の火山観測体制」について

### ●札幌管区気象台(火山監視・情報センター)の体制

北海道駒ヶ岳は常時観測火山として24時間体制で監視を行っています。

札幌管区気象台に設置されている「火山監視・情報センター」では、北海道内の活火山の観測・監視を一元的に行い、噴火警報等で観測成果をお知らせします。



GPS観測装置



隅田盛地観測点



地震計・傾斜計(地下埋設ボアホール型)



遠望観測装置

### □観測の種類

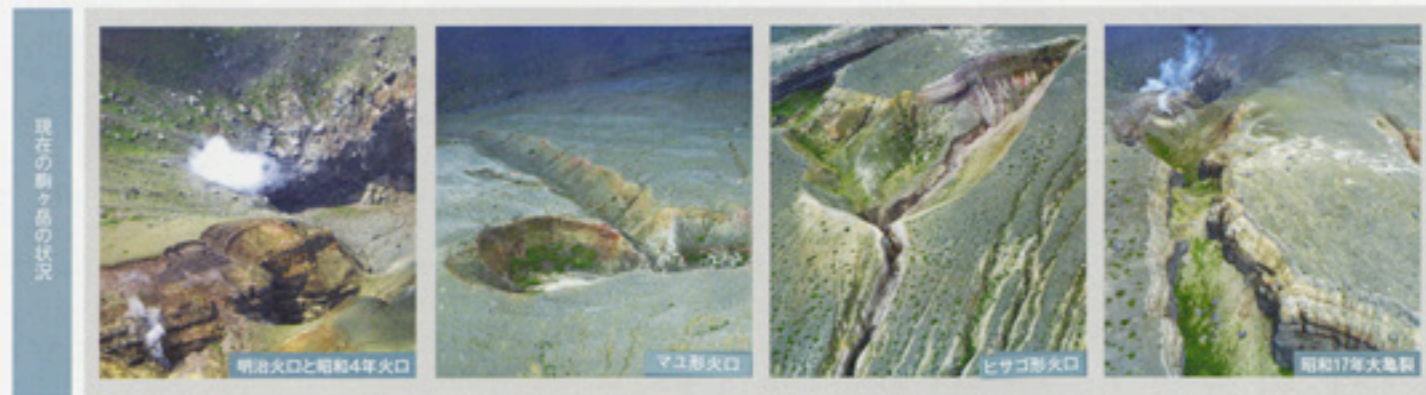
|        |                                                                                                                                                              |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 震動観測   | 北海道駒ヶ岳では、昭和4年火口の西南西約4.1kmのA点のほか、山頂・山麓の合わせて6地点に地震計を設置しています。また、A点、梨の木沢(森町砂原)、鹿部町浄水場の3地点に空振計を設置しています。これらのデータは札幌管区気象台に伝送されて、火山性地震や火山性微動、噴火などに伴う空気振動(空振)を観測しています。 |
| 遠望観測   | 鹿部町浄水場と森町赤井川に監視カメラを設置し、札幌管区気象台に伝送して噴煙の状況などを観測しています。                                                                                                          |
| 地殻変形観測 | A点と梨の木沢に傾斜計を設置しています。その他、森町姫川、押出沢、東円山、東山腹、南山腹の5地点にGPSを設置し、札幌管区気象台に伝送してマグマの活動などに伴う地形の変化を観測しています。                                                               |
| 現地観測   | 定期的に火口付近において噴気温度や、地中温度などの測定を行っています。また、遠望観測や震動観測で火山現象に異常を認めたり、付近の住民などから異常の通報があった場合には臨時に観測を行います。                                                               |

### ●北海道大学(有珠火山観測所)

北海道大学では、地震計・空振計・傾斜計・歪み計・GPS受信機及び高感度カメラなどを設置しており、観測データは森町分室に集められ、ここから、有珠火山観測所に送られています。

# 噴火警戒レベル

| 予報<br>対象             | 噴火予報                                                         | 火口周辺警報                                                 |                                                                                                                                                            | 噴火警報                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                  |
|----------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| レベル                  | 1 (平常)                                                       | 2 (火口周辺規制)                                             | 3 (入山規制)                                                                                                                                                   | 4 (避難準備)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 5 (避難)                                                                                                                                                                                           |
| 火山活動の状況              | 火山活動は静穏。火山活動の状況によって、火口内での火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。 | 火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。 | 居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。                                                                                              | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。                                                                                                                                                             |
| 住民等の行動及び登山者・入山者等への対応 | 状況に応じて火口内への立入規制等。                                            | 住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。                                  | 住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。登山禁止や入山規制等危険な地域への立入規制等。                                                                                                       | 警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要。                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 危険な居住地域からの避難等が必要。                                                                                                                                                                                |
| 基本的な対応策              | ◆異常現象発見者通報への対応                                               | ◆災害情報連絡室設置<br>◆異常現象発見者通報への対応                           | ◆災害対策本部設置<br>◆避難所の開設準備                                                                                                                                     | ◆第一次避難区域の自主避難                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ◆第一次避難区域の避難準備<br>◆状況に応じて第二次避難区域の避難準備、避難<br>◆状況に応じて第三次避難区域の避難準備、避難                                                                                                                                |
| 指定された現象等             | ●火山活動は静穏、状況により山頂火口内及び近傍に影響する程度の噴出の可能性あり                      | ●地震活動や熱活動の高まり等により、小噴火の発生が予想される                         | ●小噴火が発生し、山頂火口原内に噴石飛散<br><b>昭和4年の大噴火(1929年)の事例</b><br>○1929年6月17日 00時30分頃：最初の小噴火<br><b>過去の事例</b><br>○1900年4月3日、6～7日：火山性地震多発、火山性微動発生<br>○1983年6月13日：遠発型の地震発生 | ●小噴火が長時間継続または断続的に発生、あるいは火山性微動の増大等により大噴火の発生が予想される<br><b>昭和4年の大噴火(1929年)の事例</b><br>○1929年6月17日未明：小噴火が断続的に発生<br><b>過去の事例</b><br>○2000年9月～11月：小噴火、噴石が山頂火口原内に飛散<br>○1998年10月25日：小噴火、噴石が山頂火口原内に飛散<br>○1996年3月5日：小噴火、噴石が山頂火口原内に飛散<br>●火山性微動発生、地震活動や熱活動の活発化等により、小噴火の発生が切迫している。<br><b>過去の事例</b><br>○2000年7月19日～21日、8月7～9日：噴煙活動の活発化 | ●大噴火が発生し、火砕流が居住地域に到達、多量の軽石や火山灰が広範囲に堆積<br><b>昭和4年の大噴火(1929年)の事例</b><br>○1929年6月17日10時頃～24時頃：大噴火、多量の軽石や火山灰が広範囲に堆積、火砕流が山麓(火口から最大8km程度)まで到達<br>●顕著な地殻変動等により、大噴火の発生が切迫している<br><b>過去の事例</b><br>○観測事例なし |



現在の駒ヶ岳の状況



# 避難場所一覧

避難に際しては噴火の規模や災害の状況などを判断し、町が適切な一時避難場所や広域避難場所を決め、皆様に防災行政無線などの手段により連絡いたします。

| 森 町 (01374)                                    |                |        |
|------------------------------------------------|----------------|--------|
| 避難地域又は地区名                                      | 避難場所等名         | 電話番号   |
| 赤井川<br>駒ヶ岳地区<br>姫川                             | 赤井川小学校         | 5-2504 |
|                                                | 赤井川特別母と子の家     | 5-2811 |
|                                                | グリーンピア大沼       | 5-2277 |
|                                                | 駒ヶ岳小学校         | 5-2243 |
|                                                | 駒ヶ岳特別母と子の家     | 5-2824 |
|                                                | 森町児童サービスセンター   | 2-2297 |
|                                                | 姫川福祉会館         | 2-0606 |
|                                                | 旧はこだてワールド温泉牧場  | 5-2201 |
| 尾白内町<br>白川地区                                   | 尾白内小学校         | 2-2389 |
|                                                | 尾白内運動広場        | 2-2181 |
|                                                | 尾白内保育所         | 2-2969 |
|                                                | 尾白内生活館         | 2-3790 |
|                                                | 尾白内南部生活改善センター  | 2-0938 |
| 森町農業集落センター                                     | 2-0993         |        |
| 港町<br>東森町地区                                    | 東森生活館          | 2-0614 |
|                                                | 港町保育所          | 2-2512 |
|                                                | 森町漁村センター       | 2-7373 |
| 御幸町<br>清澄町<br>森川町<br>常盤町地区<br>新川町<br>上台町<br>本町 | 森町福祉センター(公民館)  | 2-2186 |
|                                                | 森小学校           | 2-2113 |
|                                                | 森保育所           | 2-2579 |
|                                                | 青少年会館(柔道館)     | 2-1234 |
|                                                | 緑の家(森町身障者福祉会館) | 2-0998 |
|                                                | 森幼稚園           | 2-1717 |
|                                                | 青葉ヶ丘公園         | 2-2181 |
|                                                | オニウシ公園         | 2-2181 |
|                                                | みどりヶ丘会館        | 2-6038 |
|                                                | 上台地区活性化支援センター  | 2-1300 |
|                                                | 駅前ふれあいセンター     | 2-5615 |
|                                                | 森高等学校          | 2-2059 |
|                                                | 森町民体育館・サンビレッジ森 | 2-1234 |
|                                                | 森町民野球場         | 2-1234 |
|                                                | 森川児童会館         | 2-2864 |
| 森町基幹集落センター                                     | 2-4794         |        |
| 森川・姫川生活改善センター                                  | 2-1696         |        |
| 森中学校                                           | 2-2406         |        |
| 新川保育所                                          | 2-2543         |        |
| 常盤福祉会館                                         | 2-4883         |        |
| 新川老人いこいの家                                      | 2-4795         |        |
| 森町交流支援センター                                     | 2-7685         |        |
| 鳥崎町<br>鷺ノ木町地区<br>富士見町                          | 鳥崎生活改善センター     | 2-0992 |
|                                                | 鷺ノ木小学校         | 2-2069 |
|                                                | 鷺ノ木保育所         | 2-2933 |
|                                                | 鷺ノ木生活館         | 2-0809 |
| 姥谷町<br>本茅部町地区                                  | 鷺ノ木史跡資料館       | 2-0969 |
|                                                | 姥谷生活館          | 2-3595 |
| 本茅部福祉会館                                        | 2-0962         |        |

|          |                |        |
|----------|----------------|--------|
| 石倉町地区    | 石倉小学校          | 7-3301 |
|          | 石倉生活館          | 7-3019 |
|          | 石倉西部福祉館        | 7-3248 |
|          | 下濁川生活改善センター    | 7-3249 |
| 濁川地区     | 濁川小学校          | 7-3004 |
|          | 濁川生活改善センター     | 7-3070 |
|          | 濁川地区会館         | 7-3230 |
| 三岱地区     | 三岱地区会館         | 7-3269 |
|          | 砂原1・2丁目地区      | 8-2378 |
| 砂原3丁目地区  | 掛瀬生活館          | 8-2378 |
|          | 砂原婦人会館         | 8-2944 |
| 砂原4丁目地区  | さわやかパーク        | 8-3111 |
|          | さわやかセンター・砂原    | 8-2380 |
|          | ふれあい交流プラザ      | 8-3111 |
| 砂原5丁目地区  | 砂原中学校          | 8-2012 |
|          | さわら小学校         | 8-4123 |
|          | さわら幼稚園         | 8-2462 |
|          | 砂原福祉会館・公民館     | 8-3190 |
|          | 森町ふるさと交流館      | 8-4255 |
|          | 森町つど〜る・プラザ・さわら | 8-2828 |
|          | やすらぎプラザ        | 8-2949 |
|          | 森町総合運動公園       | 8-3190 |
|          | 砂原特別母と子の家      | 8-2264 |
|          | 森町ふれあいの森       | 8-5562 |
| 砂原4丁目地区  | 森町郷土館          | 8-2967 |
| 砂原5丁目地区  | 彦瀬集落センター       | 8-2780 |
| 砂原6丁目地区  | ハマナスグリーンパーク    | 8-3111 |
| 砂原東1丁目地区 | 沼尻コミュニティセンター   | 8-4009 |
| 砂原東5丁目地区 | 森町沼尻いこいの広場     | 8-3111 |

| 鹿部 町 (01372)      |                     |        |
|-------------------|---------------------|--------|
| 避難地域又は地区名         | 避難場所等名              | 電話番号   |
| 大岩 全域 ~           | 渡島リハビリ体育館(火山噴火避難場所) | 7-3269 |
| 鹿部第3区C町内会         | 大岩地域会館              | 7-3369 |
| 鹿部第3区A・B町内会       | 鹿部小学校 (火山噴火避難場所)    | 7-3334 |
|                   | 鹿部中央公民館 (火山噴火避難場所)  | 7-3124 |
|                   | 鹿部中学校 (火山噴火避難場所)    | 7-3114 |
|                   | 鹿部会館                | 7-3757 |
| 宮浜 全域             | 宮浜生活館               | 7-2306 |
|                   | 宮浜児童館               | 7-3341 |
|                   | 鹿部幼稚園               | 7-2417 |
| 本別 全域 (大和ノート地域含む) | 山村広場グラウンド           | 7-2076 |
|                   | 総合体育館 (火山噴火避難場所)    | 7-3998 |
|                   | 本別生活改善センター          | 7-2408 |
| ~                 | 本別中央会館              | 7-3255 |
|                   | 駒見・相泊地区             | 出来瀬会館  |

## 函館市 (0138)

| 避難地域又は地区名 | 避難場所等名      | 電話番号    |
|-----------|-------------|---------|
| 古部地区      | 古部会館        | 63-2565 |
|           | 古部体育館       |         |
| 木直地区      | 木直小学校       | 63-2563 |
|           | 白井川会館       |         |
|           | ボン木直会館      | 63-3752 |
|           | 木直会館        | 63-2822 |
| 尾札部地区     | 尾札部中学校      | 63-2762 |
|           | 慈光小学校       | 63-2561 |
|           | 見日会館        | 63-2549 |
|           | 尾札部会館       | 63-3626 |
|           | 黒鷲会館        | 63-3638 |
| 川汲地区      | 尾札部保育園      | 63-2311 |
|           | 南茅部運動広場     | 25-5967 |
|           | 南茅部高等学校     | 25-3372 |
|           | 旧町民の庭       |         |
|           | 川汲会館        | 25-3311 |
| 安浦地区      | 南茅部公民館      | 25-3789 |
|           | 安浦会館        | 25-3690 |
| 白尻地区      | 南茅部青少年会館    |         |
|           | 白尻小学校       | 25-3059 |
|           | 南茅部スポーツセンター | 25-5039 |
| 豊崎地区      | 白尻保育園       | 25-3045 |
|           | 白尻会館        | 25-3779 |
|           | 白尻中学校       | 25-3281 |
| 大船地区      | 大船小学校       | 25-3161 |
|           | 緑地広場        |         |
|           | 大船会館        | 25-3949 |
| 双見地区      | 双見会館        | 25-5062 |
|           | 望路会館        | 25-3694 |
|           | 磯谷会館        | 25-5602 |
|           | 磯谷体育館       |         |

## 七飯町 (0138)

| 避難地域又は地区名 | 避難場所等名          | 電話番号    |
|-----------|-----------------|---------|
| 大川中野地区    | 七飯町大川コミュニティセンター | 65-3105 |
|           | 大川美園振興会館        | 65-3955 |
|           | 東大川振興会館         | 65-9060 |
|           | 松の木町内会館         | 64-0406 |
| 大中山地区     | 旧大中山公民館         | 65-2888 |
|           | 大中山コモン          | 65-9711 |
|           | 大中山小学校          | 65-2225 |
| 中島地区      | 大中山中学校          | 65-2221 |
|           | 中島会館            | 65-4164 |
| 豊田地区      | 豊田会館            | 65-4197 |
| 鶴野地区      | 鶴野会館            | 65-3129 |
|           | 鶴野小学校           | 65-3301 |
| 緑町地区      | 緑町会館            | 65-6242 |
| 嶋川地区      | 嶋川振興会館          | 65-3316 |
| 本町地区      | 本町見晴振興会館        | 65-5790 |
|           | 本町振興会館          | 65-9721 |
|           | 七飯町スポーツセンター     | 65-4116 |
|           | 七飯町地域センター       | 65-2067 |
|           | 七重小学校           | 65-2029 |
| 桜町・飯田地区   | 七飯中学校           | 65-2211 |
|           | 七飯町文化センター       | 66-2066 |
|           | 桜町振興会館          | 65-5034 |
| 藤城上藤城地区   | 上藤城会館           | 64-5222 |
|           | 藤城公民館           | 65-5115 |
|           | 藤城小学校           | 65-2615 |
| 神下仁山地区    | 神下公民館           | 65-3318 |
|           | 神下小学校           | 65-2415 |
| 大沼町地区     | 南北海道大沼博人会館      | 67-3531 |
|           | 大沼多目的会館         | 67-3153 |
|           | 大沼公民館           |         |
| 軍川上軍川地区   | 大沼小学校           | 67-2031 |
|           | 軍川振興会館          | 67-2547 |
|           | 軍川小学校           | 67-2333 |
|           | 大沼中学校           | 67-2351 |
| 東大沼地区     | 吉野山会館           | 67-2188 |
|           | 東大沼地区生活館        | 67-2969 |
| 西大沼地区     | 東大沼小学校          | 67-2309 |
|           | 東大沼駅前会館         | 67-2165 |
|           | 西大沼会館           | 67-2338 |

**!** 避難するときは  
携帯品は限られた必要なもの  
だけとしましょう。



必要なものは、  
◀非常品持ち出し袋  
に入れて持ち運びましょう。



### わが家の避難場所

※あなたの避難場所を記載しておいて下さい。

| 避難場所名 | 電話番号 | 備考 |
|-------|------|----|
|       |      |    |
|       |      |    |
|       |      |    |
|       |      |    |

# 避難時の心得・知識

～自分の命は自ら守る!備えあれば憂いなし～

## 「避難の心得」～避難する場合の注意～

### 1. まずは正確な情報を

ラジオやテレビ・新聞、行政機関の広報などをチェック。  
(デマに惑わされないようにしましょう)



### 2. 防災行政無線の情報をチェック

危険が迫ったときは、役所などから各家庭に呼びかけます。



### 3. 避難勧告に従いましょう

避難勧告は命令ではありませんが、生命・身体を災害から守るのと同時に災害の拡大を防ぐため、とくに必要があると認められる地域にお住まいの方に、避難のために立ち退きを勧めるものです。



### 4. 避難前は戸締まり、火元に注意しましょう

避難する前に、電気・ガス・ストーブなどの火元を消し、避難場所を認知しましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。家をあけるときは、コンセントからプラグを抜き、ブレーカまたは安全器を切ってください。



### 5. 切れた電線に注意!!

切れて垂れ下がった電線には、絶対近づかず触れないようにして下さい。



### 6. ガスの“におい”がする

ガスの臭いがするときは、電気のスวิตช์に触れないで下さい。



### 7. 子供や高齢者などは…

子供や高齢者などは避難に時間がかかるので早めに避難させましょう。また夜間の避難は大変危険ですので、できるだけ余裕をもって避難しましょう。



### 8. 車での避難はやめましょう

市街地では、車での避難は交通渋滞をまねくのでできるだけひかえましょう。



## 「避難の知識」～素早く、あわてず避難場所へ～

### 1. 避難誘導者

避難誘導は、災害対策本部員、消防署員、消防団員及び警察官その他このことについての指示を受けた人が協力し実施します。



### 2. 避難順位

避難させる場合は、老人、幼児、傷病者、身障者及び婦人を優先的に避難させます。



### 3. 避難方法

避難には3つの方法がありますが、災害対策本部が、噴火の規模、避難開始の時期、交通状況等を考慮し、状況に応じて適切な避難方法を指示します。

#### ① 自力避難

徒歩等により、住民が自力で、避難場所へ避難する方法



#### ② 救出避難

残留地域住民、負傷した人などを危険地帯から救出し、避難場所へ避難する方法。



#### ③ 集団避難

避難場所に集合した人を、災害対策輸送車両で集団的に安全な避難場所へ避難させる方法。



## 「災害時要援護者について」

お年寄り、乳幼児、障害者、外国人など災害時に弱い立場にある人々のことです。日頃から住人ひとりひとりが災害時の要援護者とコミュニケーションをはかり、災害時の避難に支援・協力しましょう。

### 〈肢体の不自由な人〉

車椅子の場合、階段では必ず3人で協力する。上がり階段は前向き、下り階段は後ろ向きに。場合によっては背負うなど、臨機応変な対応を。



### 〈目の不自由な人〉

「お手伝いしましょう」などと、まず声をかける。杖を持っていないほうのひじに軽くふれるか腕をかし、半歩くらい前をゆっくりと歩く。具体的な数字や言葉ではっきりと情報伝達を。



### 〈耳の不自由な人〉

相手にまっすぐ顔を向け、口をはっきりと動かす。口頭でわからなければ、紙とペンで筆談も。筆記用具がない場合は相手の手のひらに指で字を書いて伝える。



# 非常持出品チェック欄

「いつも、あなたが一番大切だと思っているものを!」

## 水・食料品



- 飲料水
- 乾パンやクラッカー
- レトルト食品や缶詰
- チョコレート・チーズ
- ナイフ・缶切りなど

## 携帯ラジオ・懐中電灯



- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 予備の電池も忘れずに!

## 救急医療品・安全



- 救急医薬品
- 常備薬の予備
- ゴーグル・防塵マスク
- 防災ずきん・帽子
- 底の厚いくつ
- 地図など

## 貴重品類



- 現金
- 貯金通帳
- 印鑑
- 健康保険証の写し
- 身分を証明するもの

## 衣類等



- 下着
- 寝袋
- 雨具
- タオルなど

## 日用品



- 軍手
- ロープ
- マスク
- 使い捨てカイロ
- マッチ・ライター
- 生理用品
- ウエットティッシュ
- 包装用ラップ
- ホイッスル
- メモとペン など

## 赤ちゃんがいる場合



- ほ乳ビン
- 紙おむつ
- ミルク

## お年寄りがいる場合



- 看護用品
- 紙おむつ
- 常備薬
- 入歯
- 老眼鏡(メガネ)

※ をつけて、定期的にチェックしましょう。

## 《避難カード》を貼っていきましょう。▶▶▶

### ●裏面の「避難カード」の使用方法について

裏面の避難カードは、災害時において、ご家族が自主的に避難しようとする場合、避難先等を知ることが必要となりますので、切り取り線に従って切り取り、下記の記入例を参考に記入し、避難の際に玄関等の見やすい場所に、画紙、粘着テープ等で貼り付け、表示しておいてください。記入の際は消えにくい油性マジックなどを使用してください。

記入例

世帯主名 山田 太郎 他 3 名

避難しました

避難先 山田 次郎

(住居) 函館市〇〇町12-3

避難先電話番号 (又は携帯電話番号) 0138-XX-XXXX

090-XXXX-XXXX

※本カードは、災害時に自主的に避難しようとする場合、玄関等の見やすい場所に貼っておいてください。

## 駒ヶ岳火山防災ハンドブック

(駒ヶ岳火山防災会議協議会事務局)  
〒049-2393 北海道茅部郡森町字御幸町144-1 / 森町役場 TEL 01374-2-2181 FAX 01374-2-3244  
(資料及び写真等の提供)  
北海道大学名誉教授 岡田弘氏  
北海道大学名誉教授 宇井忠英氏  
北海道大学大学院理学研究院 吉本克宏氏  
札幌管区気象台(火山監視・情報センター) 渡島森林管理署 北海道開発局 北海道  
三松正夫記念館 館長 三松三朗氏 中西清氏

(作成・印刷(平成22年3月))北海道地図株式会社